

2021年邦人被害概況

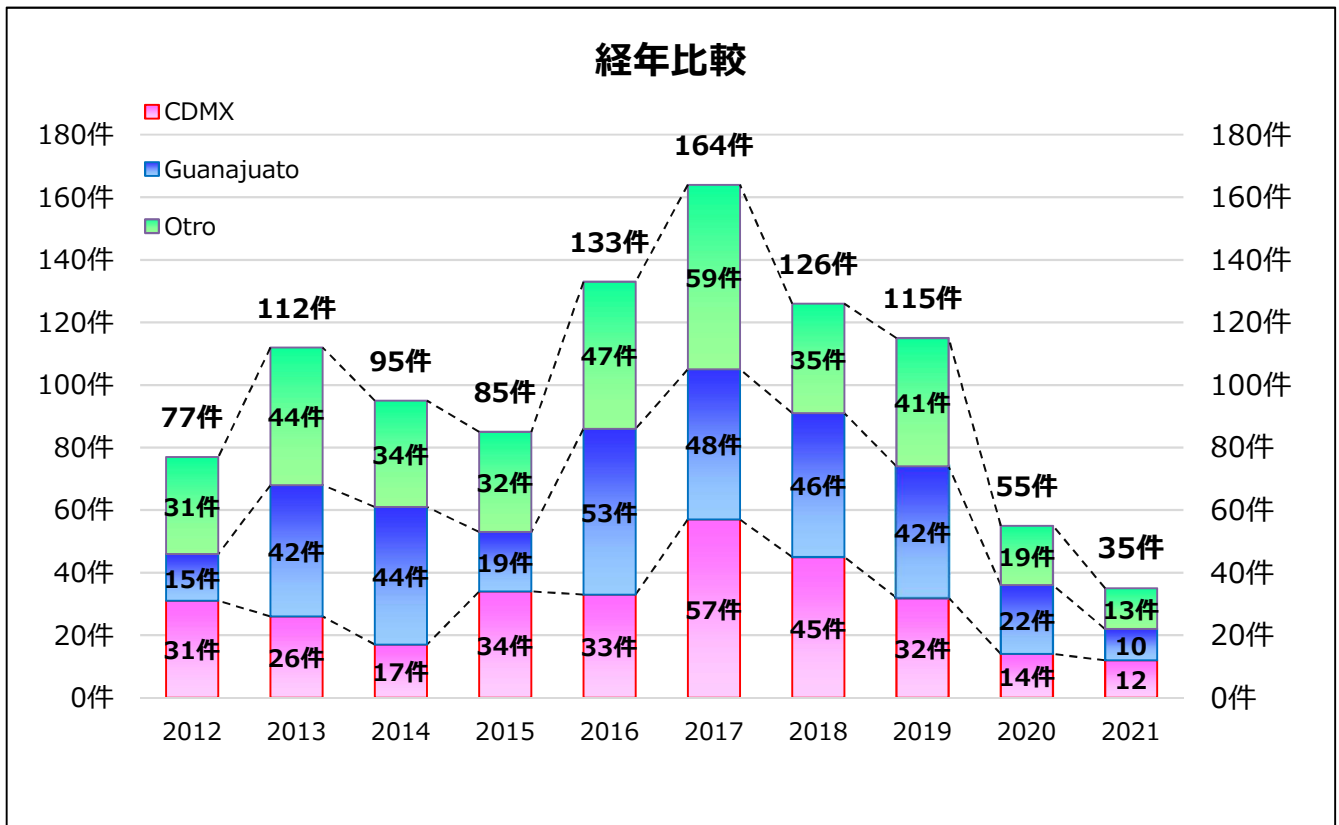
1 被害の特徴

(1) 全体的特徴

ア 2021年、在メキシコ日本国大使館及び在レオン日本国総領事館に届けられた邦人の犯罪被害件数は35件であり、2019年の115件、2020年の55件と比較して大幅に件減少した。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための各種活動制限等によるものと考えられる。

イ 罪種別では、最も多かった被害は窃盗の16件である。次に強盗被害が13件であり、窃盗と強盗で被害全体の約85%を占めた。全体の被害件数は減少したものの、強盗被害の割合が37.1%と約三分の一を占めていることから、引き続き十分な注意が必要である。

ウ 発生地域別では、メキシコ市が12件（前年比2件減）、グアナフアト州10件（前年比12件減）と、両地域における被害が全体の6割以上を占めている。その次に件数が多いのがアグアスカリエンテス州及びハリスコ州の各3件である。



(2) 地域別特徴・傾向

ア メキシコ市

(ア) メキシコ市における10件の被害の内訳は、窃盗5件（すり3件、置き引き1件、車上狙い1件）、強盗4件、恐喝2件、不正送金1件であった。

(イ) 窃盗被害はすりが最多で、いずれの被害もいわゆる「ケチャップすり」と言われる手口で、歩行中の被害者に体や着衣の背面に汚れが付いているから拭き取ってあげるなどと近寄り、拭き取り作業を手伝っている合間にショルダーバッグ等内の財布を抜き取る事案であった。

(ウ) 強盗被害は、通勤中のバス内にけん銃を所持した二人組が乗り込んできて、乗客の金品を奪った事案、徒歩で帰宅途中に背後から首を絞めるまたはスタンガンによる襲撃で気を失わせ、その間に金品を奪う

事案、タクシーに乗車中にバイクに乗車した二人組が窓越しに金品を強要する事案、警察官らしき者が旅券を所持していないことを理由に罰金を要求してきたが、被害者が支払いを拒否するとバッグから金品を奪う事案が発生した。

イ グアナファト州

(ア) グアナファト州における被害は10件(前年比12件減)で、被害の内訳は、強盗7件、窃盗3件(空き巣2件、ひったくり1件)であった。

(イ) 強盗被害は、車両乗車中の事案が多く、ガソリンスタンドにおける給油中、片側一車線の道路を走行中(進行方向を阻まれ強制的に停止)、信号待ち、コンビニエンスストア等の駐車場から降車時等に被害に遭っている。けん銃使用は7件中6件であった。いずれの事案も抵抗しなかったため、怪我等の被害はなかった。

ウ その他の地域

発生地域別では、アグアスカリエンテス州及びハリスコ州が各3件、メキシコ州、サンルイスポトシ州、バハカリフォルニア州、サンルイスポトシ州、チワワ州、ヌエボレオン州及びキンタナロー州が各1件となっている。

5月、バハカリフォルニア州ティファナ市内において、強盗目的と思われる犯人が、邦人の経営する飲食店兼自宅を襲撃し、発砲して殺害する事案が発生した。

2 被害の内訳等

(1) 届出件数

35件(前年比-20)

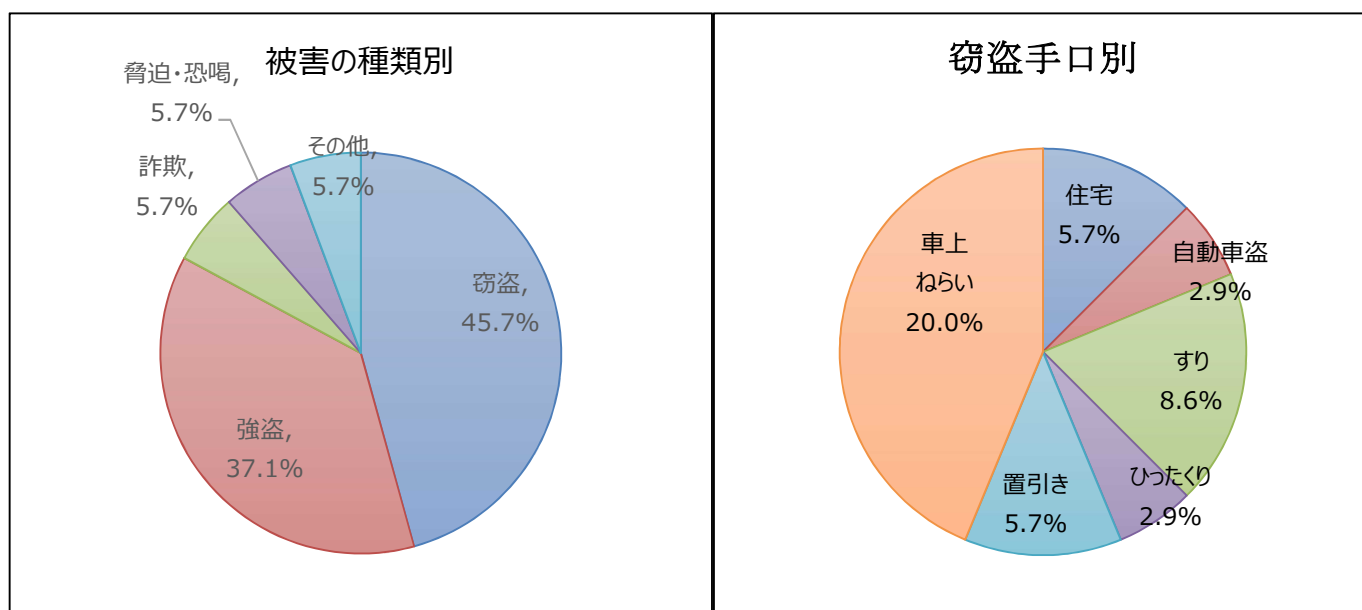
本集計は当館に届け出があった件数であり、昨年に比べ届出件数は大きく減少している。しかし、軽微な被害のために大使館に届け出をしていないケースがあることも考えられ、実際の被害件数はこれより多い可能性がある。

(2) 犯罪手口

	2021年	2020年	2019年
窃盗	16件	27件	60件
※うち、車上ねらい	7件	12件	23件
置き	2件	7件	16件
すり	3件	0件	4件
空き巣等侵入盗	2件	5件	10件
その他窃盗	0件	3件	5件
強盗	13件	16件	32件
詐欺	2件	5件	9件
殺人	1件	0件	0件
暴行・傷害(発砲を含む)	0件	5件	2件
脅迫・恐喝	2件	3件	11件
その他	1件	2件	1件

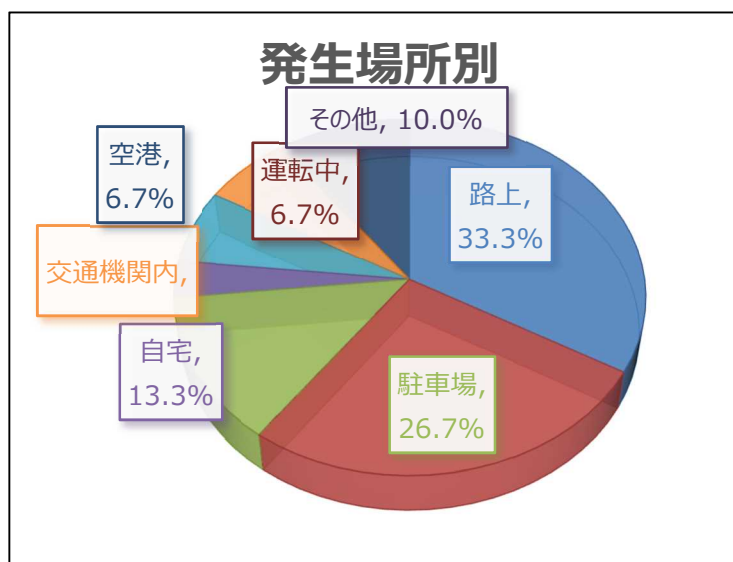
強盗被害件数は13件、このうち凶器を使用したケースは10件で、けん銃使用は8件であった。被害発生時間帯別では日中6件、日没後7件であり、昼夜問わず発生している。被害者が負傷したケースはなかったが、犯人に抵抗すると生命にかかわる危険な状況となる可能性が高いため、決して抵抗してはならない。

強盗の手口としては、自動車運転中の被害が多く、また駐車場や路上での被害も多く発生していることから、移動時には十分に注意する必要がある。



(3) 発生場所別

路上	11件
駐車場	9件
自宅・事務所	4件
運転中	2件
空港	2件
ガソリンスタンド (GS)	2件
バス・タクシー	2件
銀行・ATM	1件
その他 (不明)	3件



(4) 被害者別 (複数被害者がいる場合もあるため、被害件数とは一致しない)

長期滞在・永住者 31名 (-13) 男性: 25名 (-9)、女性: 6名 (-4)

短期渡航者 (観光) 2名 (-8) 男性: 2名 (-4)、女性: 0名 (-4)

※短期出張者、邦人の被害はなし。

被害の詳細については、「邦人被害一覧(2021年)」をご参照ください。(被害者から許可を得たもののみ掲載)